

# バイオマスリサイクルで実現する 循環型社会、低炭素社会、自然共生社会

## 第一部 特別講演

### 『地球温暖化防止に貢献するメタン発酵』



講師 野池 達也 日本大学教授  
東北大学名誉教授

人間と生態系の調和のとれた循環型社会システムの実現のために、人間の生命活動および産業の発展の結果より生ずる廃棄物に対して、出来る限り環境への負荷の少ない環境保全技術および環境計画手法の開発を目的として、排水・汚泥の生物学的処理、バイオマスからの生物学的エネルギー回収および地球温暖化防止および環境汚染制御に関して、環境微生物学、環境生物科学、分子生物学および環境システム学等の環境科学に基づく応用研究を行う。

## 第二部

『バイオマスタウン構想 八千代モデルについて』  
グリーンエコ合同会社 安田忠司 様

『排水処理の汚泥削減と臭気対策について』  
エンザイム(株) 代表取締役 鈴木邦威 様

平成 24年 2月22日(水)

13:00~17:00 (受付開始 12:30~)

つくば国際会議場 中会議室406

茨城県つくば市竹園2-20-3 TEL:029-861-0001

会費 3,000円

定員 100名 (事前にお申込みください。  
当日参加も受付ます。)

環境問題の苦境を脱するためにも  
バイオマスリサイクルに取り組み、  
地球環境への貢献をしませんか？

■主催:一般社団法人 日本エコ協会 ■後援:つくば市、土浦市  
■共催:社団法人 日本有機資源協会、社団法人 茨城県公害防止協会

# 廃棄物処理費用のコストダウン、 化石燃料削減、CO<sub>2</sub> 排出量削減、 資源の有効活用、国民負担の軽減

昨年起こった東日本大震災による福島第一原子力発電所事故により、原子力発電所の有無が問われ火力発電所の再稼働が検討されています。火力発電所が再稼働すれば、化石燃料の消費量が増大、CO<sub>2</sub> 排出増を招き、このままでは京都議定書の達成は困難であり、国民への負担の増大も考えられます。

日本エコ協会は、この苦境を乗り越えるための方策の一つとして、バイオマスタウン構想を支持・協力し、バイオマスリサイクルの普及・促進に努めます。バイオマスリサイクルに取り組み、地球環境への貢献をしませんか？

## 《 タイムスケジュール詳細 》

- 13:00~13:05 一般社団法人 日本エコ協会 理事長 大畑 文夫
- 13:05~13:35 (社)日本有機資源協会 幹事 上田 敏文 様
- 13:35~13:45 (社)茨城県公害防止協会 公益事業部長 横田 正雄 様
- 13:45~14:45 『地球温暖化防止に貢献するメタン発酵』  
東北大学名誉教授 野池 達也 先生
- 14:45~15:00 休憩
- 15:00~15:30 『バイオマスタウン構想 八千代モデルについて』  
グリーンエコ合同会社 安田 忠司 様
- 15:30~16:15 『排水処理の汚泥削減と臭気対策について』  
エンザイム(株) 代表取締役 鈴木 邦威 様
- 16:15~17:00 意見交換会

## 《 開場MAP 》



駐車料金：1時間当たり160円、以降30分毎に80円

## ●お申し込みについて

F A X又はメールで協会事務局までお申し込みください。 E-mail : info@nihoneco.org

**FAX申込書**

**FAX : 029-846-1557**

会社・団体名		連絡者氏名	
ご住所			
TEL 番号		FAX 番号	
ご同伴者氏名(フリガナ)	ご同伴者氏名(フリガナ)		